

2025. 12. 11

CDP の気候変動調査で最高評価「A リスト」に 2 年連続で認定

しずおかフィナンシャルグループ（社長 柴田 久）では、環境情報開示における国際的な非営利団体である CDP による 2025 年度の気候変動調査において、気候変動分野の透明性とパフォーマンスにおけるリーダーシップ等が認められ、最高評価となる「A リスト」に認定されましたので、その概要をご案内します。

なお、「A リスト」評価は今回で 2 年連続 2 度目の認定となります。

1. CDP 気候変動調査について

CDP は、企業や自治体の環境情報開示のための世界的なシステムを有する国際的な非営利団体として、企業が環境影響を開示しながら温室効果ガスを削減し、水資源や森林を保護することを促進する取り組みを先導しています。

本調査では、企業の環境リスクに対する取り組みや情報開示の包括性等に応じて、8 段階（A～D-）で評価されます。

2. しずおかフィナンシャルグループの気候変動への取り組み

しずおかフィナンシャルグループは、第 1 次中期経営計画「Xover～新時代を拓く」において、サステナビリティ指標の 1 つに「静岡県内の温室効果ガス排出量の削減（2030 年度までに 2013 年度比 ▲46%削減）」を掲げ、グループ一体となって地域の脱炭素化に取り組んでいます。

その一環として、サステナブルファイナンスの推進、地域企業の温室効果ガス排出量算出・削減支援や地産地消 J-クレジット創出支援、自社契約の全電力の再生可能エネルギーへの切替など、地域の脱炭素化に向けたさまざまな活動に取り組んでいます。

今後も、しずおかフィナンシャルグループ環境方針のもと、気候変動が引き起こす影響が経営リスクになることを認識し、グループ各社の事業を通じて持続可能な地域社会の実現に貢献してまいります。

【ご参考】しずおかフィナンシャルグループの環境に対する取り組み

https://www.shizuoka-fg.co.jp/pdf/ir/2025/shizuokafg_tougoureport_2025_03-2.pdf

